

第1回 障全交実行委員会

障害者問題全国交流会実行委員会 会長 堂上 勝巳
実行委員長 豊田みどり



残暑厳しい毎日ですが、皆様方には、社業、同友会活動と毎日忙しくされていらっしゃる事と推察いたします。

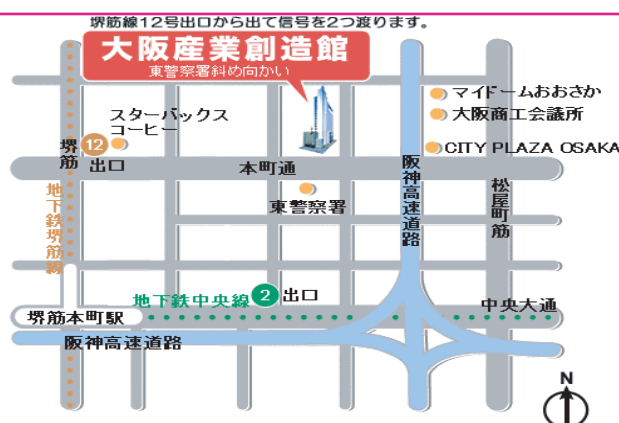
30年前の青全交において、京都同友会の中島氏が報告された「心身障害者と生きて」を聞いた参加の方々の、魂をゆさぶり、大きな感動を呼び起こしました。社会というものは、この心身障害者を含めて構成されており、この人々がまた健康な人々に人生とは何か、仕事とは何かについて教えてくれる存在になっていますが、効率至上主義のもとでは、残念ながら隔絶されています。ここに光をあてた、この人たちと働く彼の報告は、非常に参加者の胸を打ち、今後の同友会運動の中でもっと高い位置づけをし、また正面から取り上げなければ、大企業ではムリ、中小企業しかないという事が、きっかけで全国に広まっていきました。3年後には、障害者問題全国交流会が滋賀で初めて行われ、1987年の第3回は大阪で開催されました。

今、25年ぶりに大阪へ戻り、来年、開催する運びとなりました。

障全交を作り上げて行く過程において、「生きるとは」「働くとは」「幸せとは」何かの命題にせまり、「経営の原点」に立ち返れればと思っています。

日時 9月5日（月）PM6:30
場所 大阪産業創造館 6F
会議室 A

大阪市中央区本町1-4-5 tel:06-6264-9800
地下鉄「堺筋線 堺筋本町駅」12番出口
東へ5分



基調報告：(有)奥進システム 代表取締役 奥脇 学氏 中央ブロック人材部長

5年前、不安を抱えながら障がいのあるスタッフと一緒に働き始めました。それから今ではスタッフ6名中、4名の障がいあるスタッフと働く会社になりました。障がいがありながら社会で働く事を、スタッフの立場から「環境さえあれば、働きたい私たちも働く事ができる！！」という想いと最初の働き始める不安をどのように工夫したのか、結局身構えなくてもお互いに普通に接すれば、なんとかなるという実例を報告します。

討論テーマ ” 障害のある人と一緒に働くって？ ”

この討論を通じて、大阪で障全交を開催する意義
および目的を考えます。



9月5日（月）の障全交実行委員会に

懇親会場：ドルフィンズ堺筋本町店
¥3000

出席 ☐ 欠席 ☐

懇親会

出席 ☐ 欠席 ☐

会社名

氏名

ブロック名

支部名